

P64 文の組み立て

文を書くとき、どのようなことに気をつけて組み立てると
よいかを考えよう。

P64 のカードをひらびかえてみましょう。

Five empty rectangular boxes for card placement.

主語 ↓
述語 ↓

◎ほかにこんなパターンがあります。

パターン① 主語 述語 + 主語 述語

枝がのび、葉がしげる。

パターン② (主語 述語) 主語 述語

ほくが植えた木が育った。

くわしくする

主語 述語がはっきりしているとき、文章が分かりやすい。

- ◎ 主語に赤い線、述語に青い線を引きましょう。
- ・ 券売機が故障し、上に、電車がおく水た。
- ・ 立派な警察署が完成し、住民は喜んだ。
- ・ 祖父が通う銭湯が県庁の近くに初転した。

◎ 次の文を二つの文に分けて書き直しましょう。

姉がく水たカップはともかわい。

有名な作家が訳した外国の童話を讀んだ山田さんが感想を述べる。